

## 仙台の伝統的な門松を再現しました

かつて、仙台やその周辺で飾られていた門松は、現在一般的に見られるものとは違い、松や竹などを門のように組み上げた形をしていました。しかし、仙台の中心部では明治40年ころには、ほとんど姿を消し、郊外でも昭和40年代には飾る家も少なくなり、今ではほとんど見る事ができなくなっています。

仙台市博物館では、数年前から仙台の門松に関する調査を継続して行い、幾つかの関連の古文書や絵画資料などを見つけることができました。その結果、江戸時代に仙台城に飾られていた門松の大きさや数、また、材料が根白石村(泉区根白石)から献上されていたことなどがわかってきました。

ちなみに仙台城内に飾られた門松は、直径15cm、長さ3m以上の栗の木の柱に竹や松を添え、根元を櫓の割り木で囲むというもので、その高さは3mから4mに及んだと推定されます。

仙台歴史ミュージアムネットワーク(歴ネット)では、仙台市博物館の調査成果に加え、泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て、仙台の伝統的な門松を再現しました。できるだけ多くの市民の皆様にご覧いただけるよう、歴ネット参加施設のうち、瑞鳳殿・仙台市戦災復興記念館・仙台市縄文の森広場・仙台市博物館・仙台市歴史民俗資料館・仙台文学館・地底の森ミュージアムの7施設で、下記の日程で門松の展示を行います。

伝統や歴史に触れる機会が多い正月のこの時期に、そして東日本大震災からの復興の途上にある現在、仙台の伝統や地域性の一端を、この門松から感じ取っていただければ幸いです。



▲仙台市博物館



▲瑞鳳殿



▲仙台市文学館



▲仙台市縄文の森広場



▲地底の森ミュージアム



▲仙台市戦災復興記念館



▲仙台市歴史民俗資料館

### ■各館の展示期間(予定)

施設名	展示期間	問い合わせ先
瑞鳳殿	12月18日(火)～1月14日(月)	022-262-6250
地底の森ミュージアム 仙台市富沢遺跡保存館	12月18日(火)～1月23日(水)	022-246-9153
仙台市博物館	12月18日(火)～2月17日(日)	022-225-3074
仙台文学館	12月20日(木)～2月11日(月)	022-271-3020
仙台市戦災復興記念館	1月4日(金)～2月11日(月)	022-263-6931
仙台市縄文の森広場	1月5日(土)～1月23日(水)	022-307-5665
仙台市歴史民俗資料館	1月5日(土)～2月3日(日)	022-295-3956

※瑞鳳殿・仙台市歴史民俗資料館の展示場所は有料ゾーンとなりますので、見学には入館料が必要です  
 ※仙台市戦災復興記念館・仙台市博物館・仙台市歴史民俗資料館で展示するのは、樹脂製のレプリカです  
 ※休館日、開館時間等は各館へお問い合わせ下さい  
 ※掲載した写真は、仙台市博物館は平成27年度、それ以外はすべて平成29年度のものです